



第19回下野の国(144MHz)での 私の判断と行動

2013年4月21日(日)
於 栃木県南那須三箇の森

安島 巧

- △ スタート
- ビーコン
- ◎ フィニッシュ

主要道路
道路
小道
水防圏心小道
水防圏心建物
住宅地・建物
農地
大・小川
橋
堤防・人工物
フェンス
田舎・工業
耕作地
開けた土地
荒れた開けた土地
川
湿地帯
沼・池
立ち入り禁止

等高線間隔 : 10m
縮 尺 1 : 15,000

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

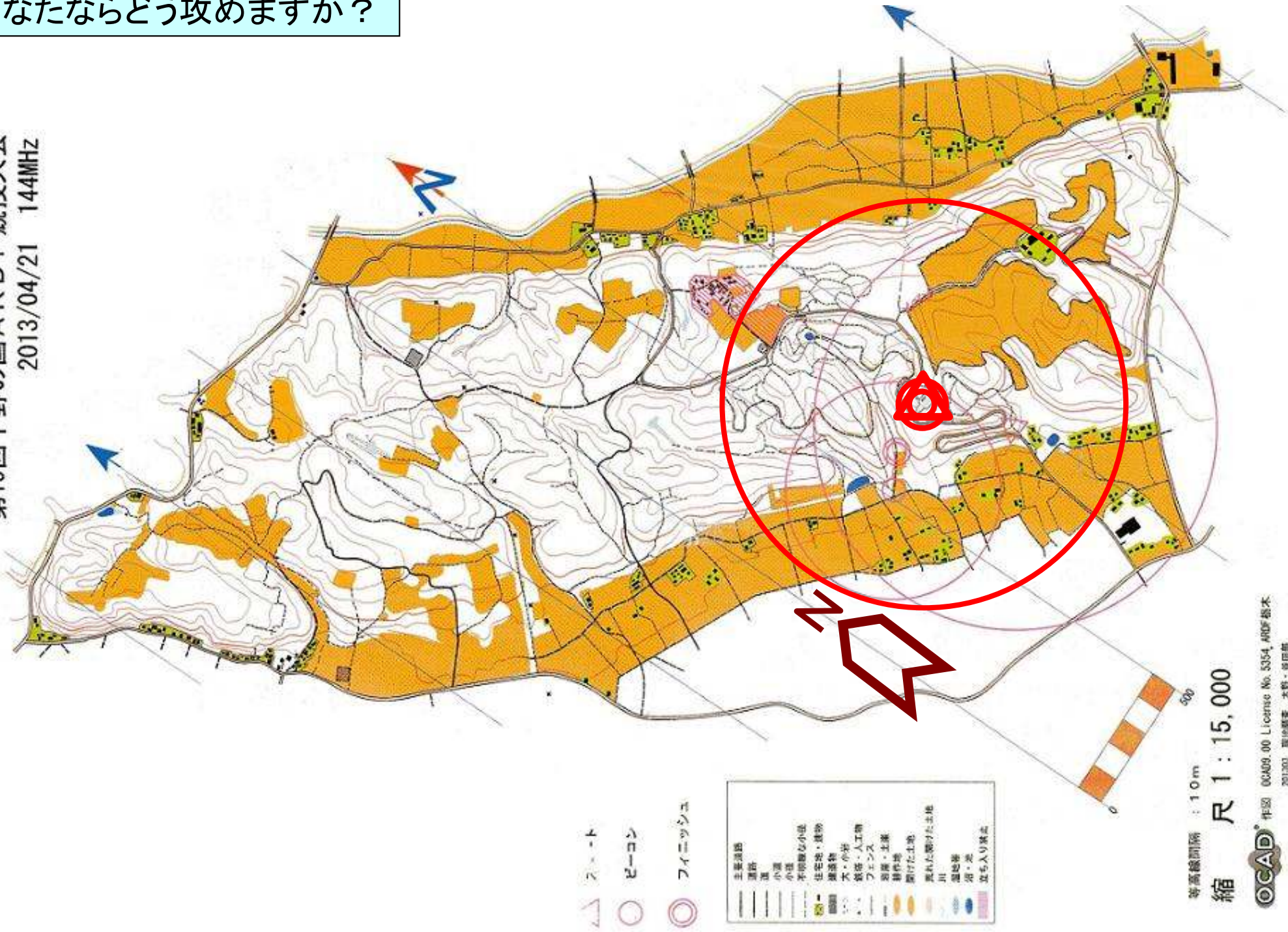
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。



南那須 三箇の森

第19回下野の国ARDF競技大会
2013/04/21 144MHz

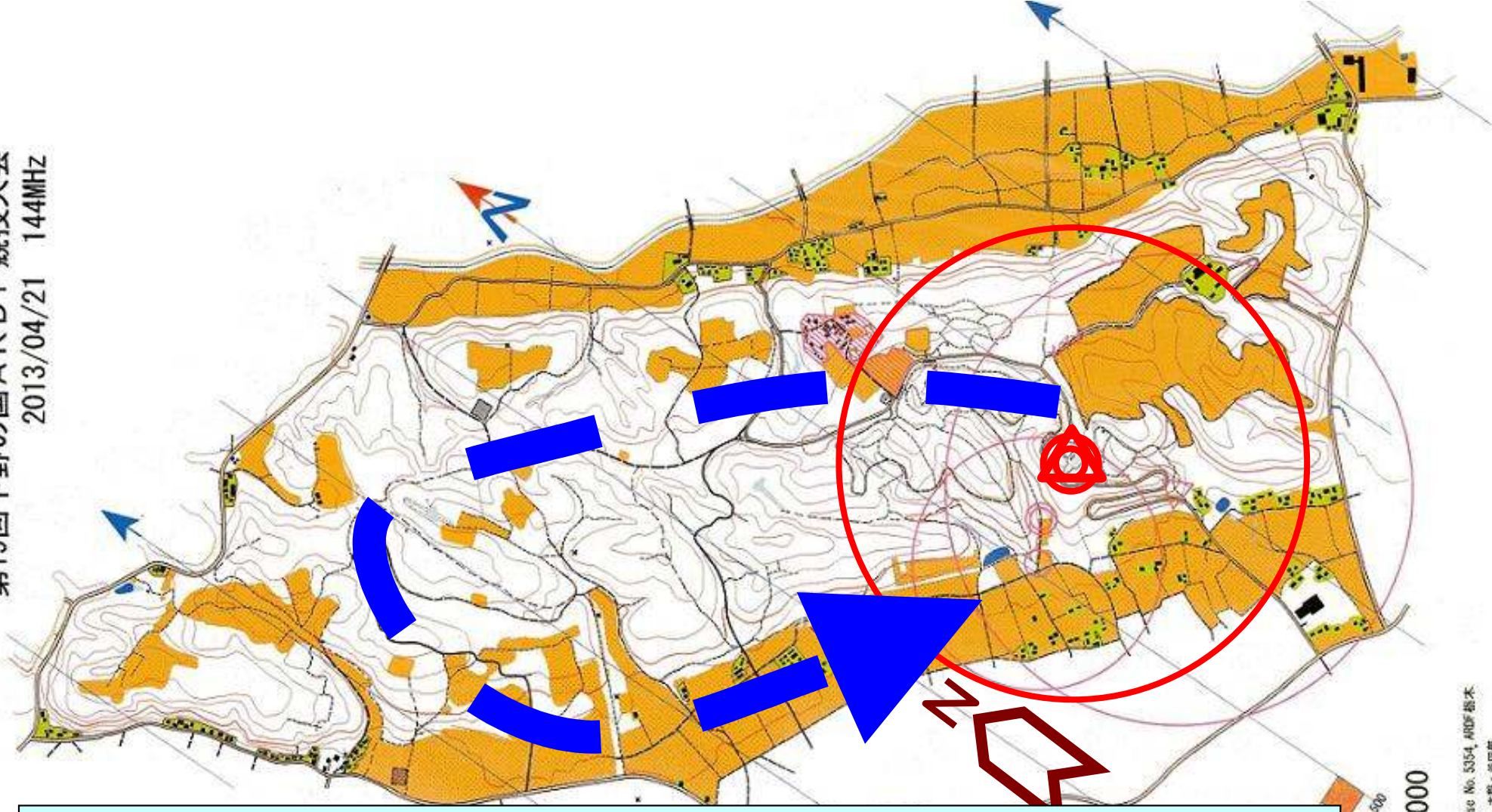
あなたならどう攻めますか？



- △ スタート
- ビーコン
- ◎ フィニッシュ

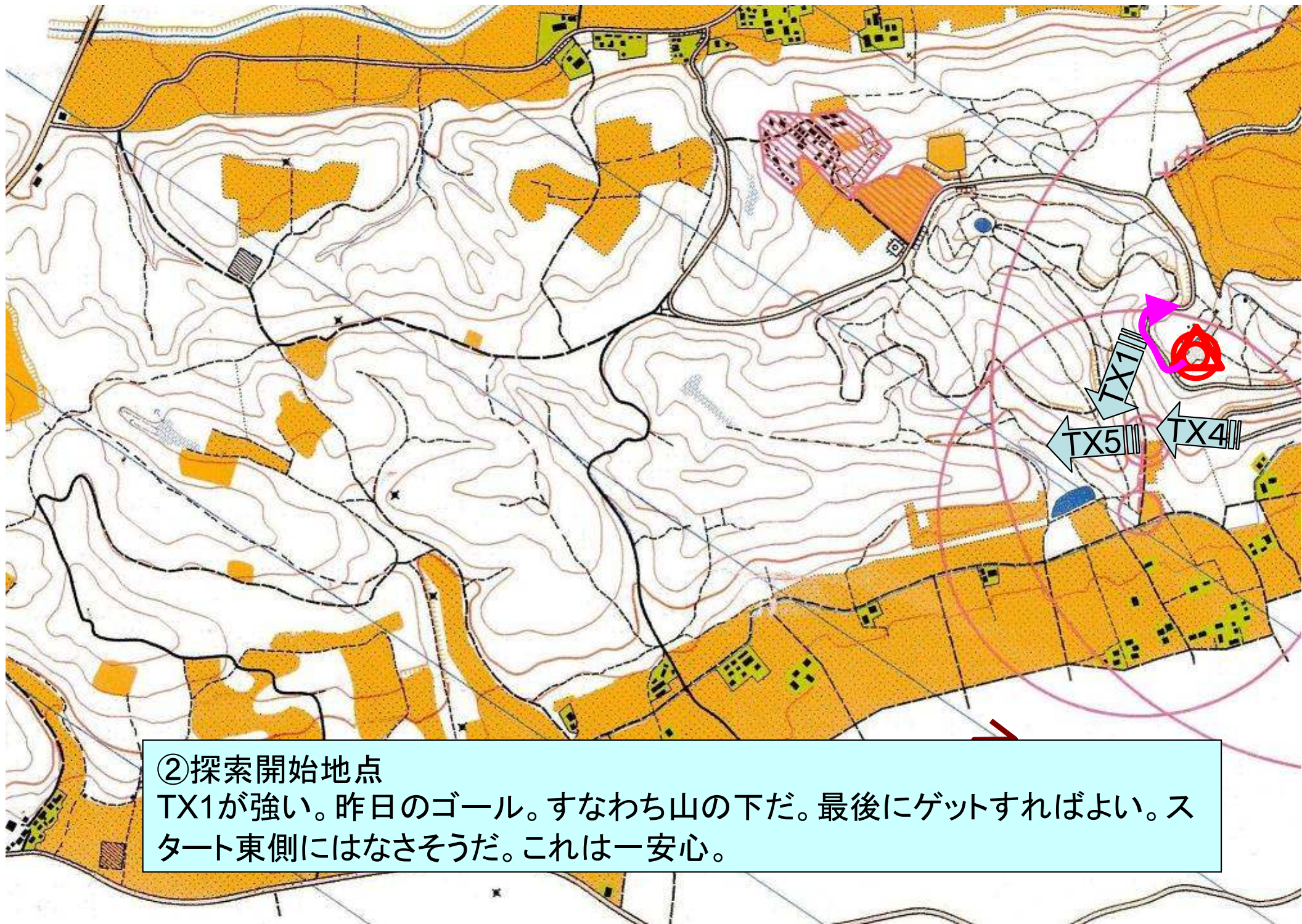
主要道路	---
道路	---
小道	---
不明瞭な小道	---
住宅地・建物	■
公園	■
大・小川	---
橋	---
堤防・人工物	---
フェンス	---
湖沼・土庫	---
耕作地	---
開けた土地	---
荒れた開けた土地	---
川	---
湿地帯	---
沼・池	---
立ち入り禁止	---

等高線間隔 : 10m
縮 尺 1 : 15,000



①スタート前の地図読み

雨のため、急遽スタートとゴールは集合場所となった。自分は地図版を裏返しにしてRXの傘としているため、地図とコンパスを見ることはできないが、昨日と同じテレインなので、記憶地図で進むことにした。回り方が左回りで、尾根道を北西方向にまず進むことにする。ただ昨日より地図範囲がスタート東側と北西方向に広がっている。



②探索開始地点

TX1が強い。昨日のゴール。すなわち山の下だ。最後にゲットすればよい。スタート東側にはなさそうだ。これは一安心。



③分岐

池方向に下る道をKさんが下っていく。2mなので、自分はそのまま車道を登る。池の近くまで行った時、昨日、自分が体力の半部を使って登って車道に出た道を登りきっているKさんを発見。すごい！

それにしても冷たい雨。指の感覚がなくなり、地図版や受信機を握っているのか否かわからない状態になってしまった。早々にリタイヤすることも考えた。また、高地なのに方探結果が少し怪しい。雨のため、アンテナに腕を突っ込んで持っているためなのか、周囲のものが雨で濡れているせいなのか、よくわからない。だが、波長から言って、少なくとも空中の雨粒のせいではない。リタイヤの4文字が心に浮かぶ。



④給水塔

相変わらずTX1が強い。余程ロケーションが良いみたいだ。競技者がうろうろしている。TX5が近いみたいだ。そのあたりで方探すとTX5の方向はやはり先だ。進む。いずれにせよこの雨だ。TXは車道脇に違いない。



⑤ 鉄塔分岐
鉄塔分岐に到達する。TX5は左に降りた方向。TX4は進行方向少し右、TX3,2はさらにその先だ。



⑥TX4
進んでいくと、右に下る道がある。そのまま少し進むが戻って、分岐で待つ。
TX4が鳴く。下る道方向だ。あわてて下る。
次第に左方向に方位がずれてくる。フラッグ発見。TX4ゲット。

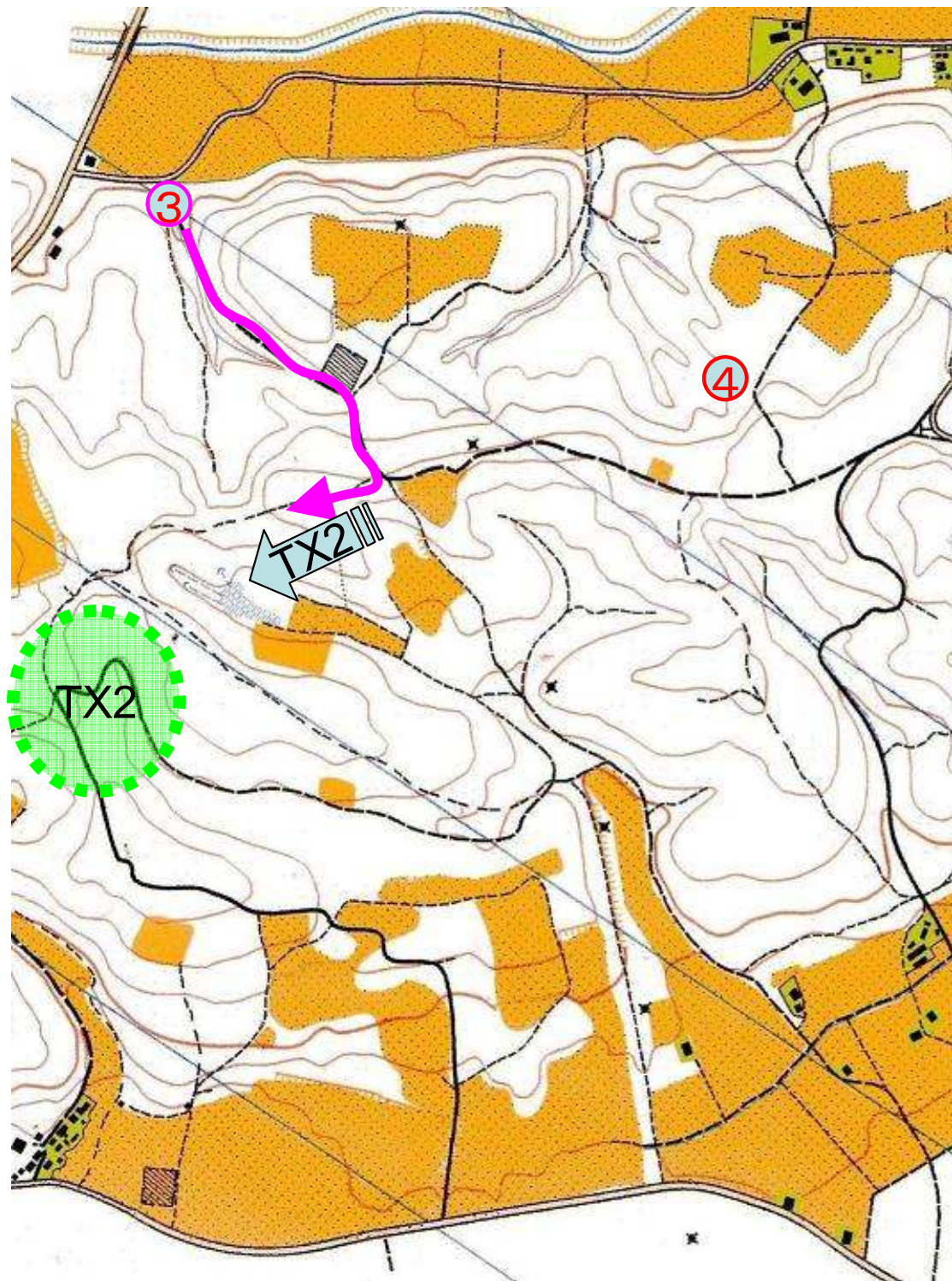


⑦TX3へ向かう。
元の道に戻り、突き当りまで進む。TX3はそこを右方向に下ったところだ。ど
ンドン進み、昨日の分岐をまず右方向へ行く。Nさんとすれ違う。雨も小降り
となり、指の感覚が戻ってきた。TX3が鳴く。やはり左方向だ。元の道に戻る。



⑧TX3

TX3が鳴く。さらに下った方向だ。そして近い。あわてて車道を走り降りる。道の左側のような。間一髪、下から来たOさんに先を越される。やられた。TX3
ゲット。



⑨尾根道に戻る。
今日は雨のため、TXの設置は道脇と見た。
TX5は鉄塔分岐を西方向に下った所だ。
時間に余裕があるので、TX2も視野に入れ
るが、TX2を取りに山の下まで降りたく
ない。TX2が尾根道周辺にあることを期待
して尾根道の分岐脇の少し高いところで
TX2を待つ。Mさんもやってきて待機を始
めた。TX2が鳴く。山道をまっすぐ行っ
た方向だ。地図を見ると山道をずっと行
ったところで車道にでていいる。TX2は
そこだろう。しかし、車道を使うとかなり
遠回りとなるので山道を行くしかない。
Mさんはとっくに山道を進んでいる。そ
の様子を見ると草の中を進んでいる。雨
対策はしているとはいえ、あれではび
しょ濡れ必須だ。まだ1時間以上ある
が、とっととTX2はあきらめ、TX5に
向かうことにする。



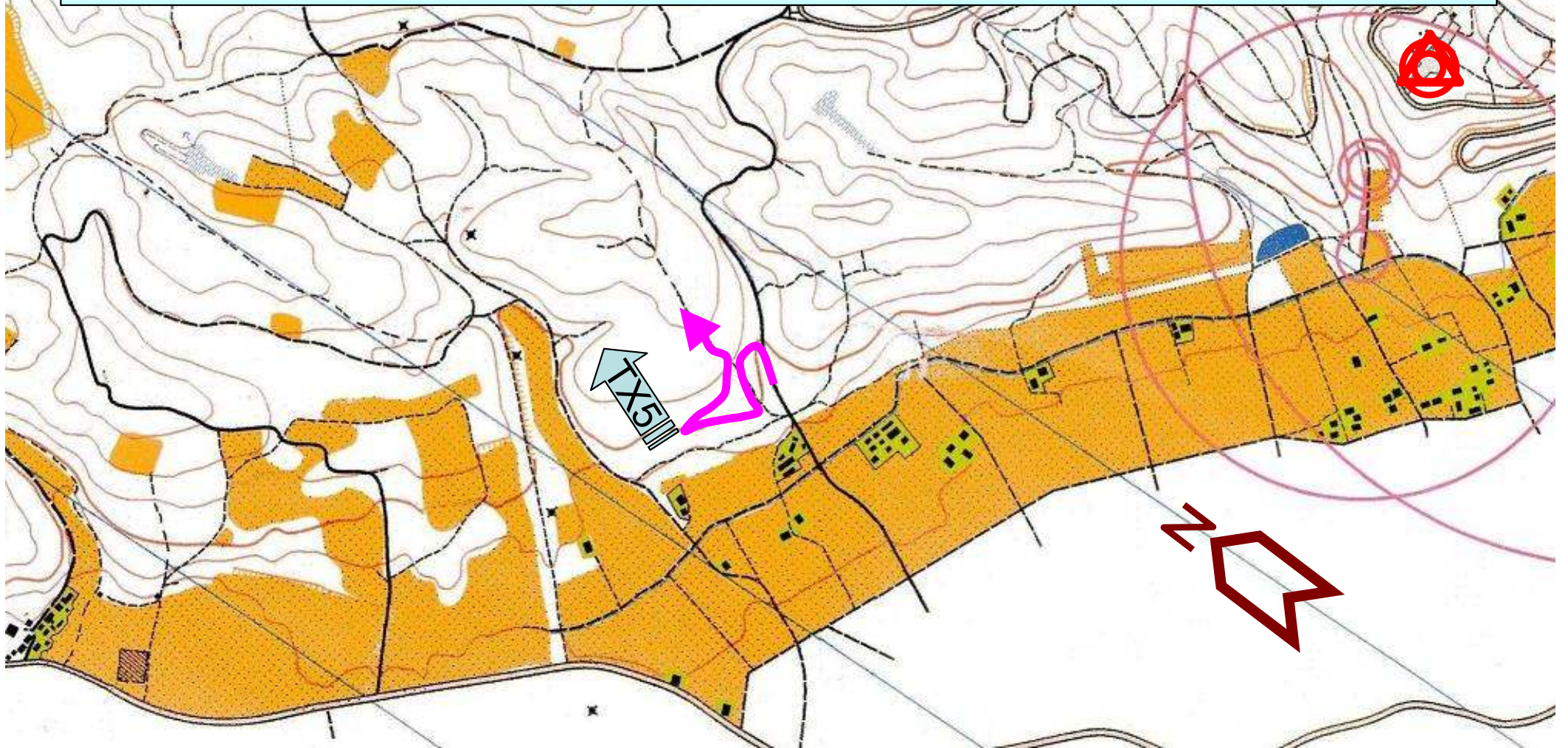
⑩鉄塔分岐

鉄塔分岐手前から、尾根道を西に降りる。曲折しているあたりと推定していたが、さらに下のほうだ。昨日、TX1に行くために山に登った付近まで降りてくる。これ以上行ったら完全に下界に出てしまう。少し戻ったところで待機。

⑪ 翻弄

TX5が鳴く。しまった方位が出ない。この谷ではない。思いっきり腕を伸ばして方探する。かすかに右の山のほうが強いような気がした。あわてて山を登る。山を登りきる寸前から急に強烈に入感することを夢見ていたが、その寸前に停波。登ったところの周辺を目視探索するが、フラッグは無い。

TX5が鳴く。「じえじえっ」上のほうではないか。確かに尾根道から下る小路が地図にはある。やられた。小道を探し、尾根道に向かって登る。



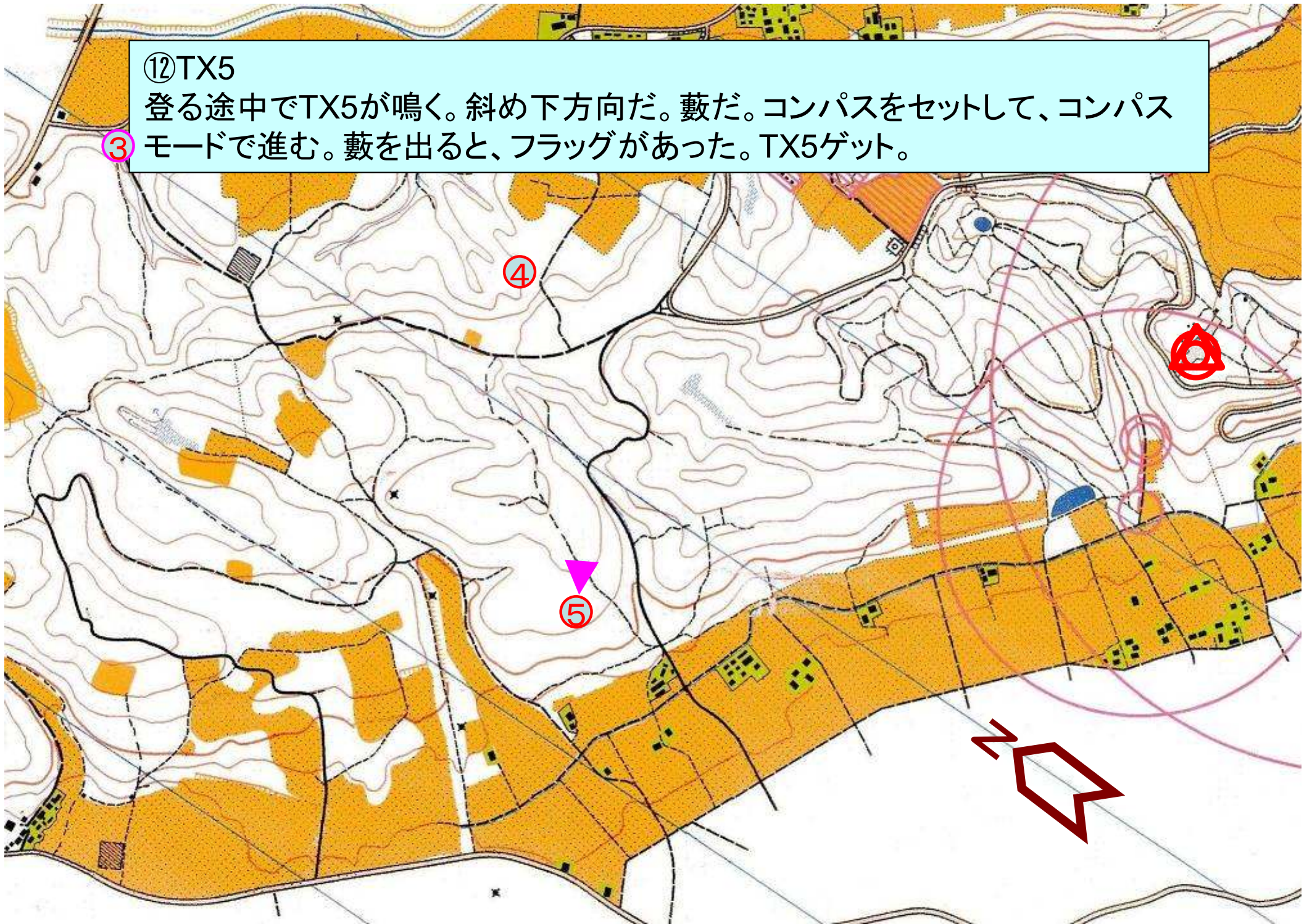
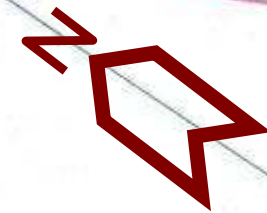
⑫TX5

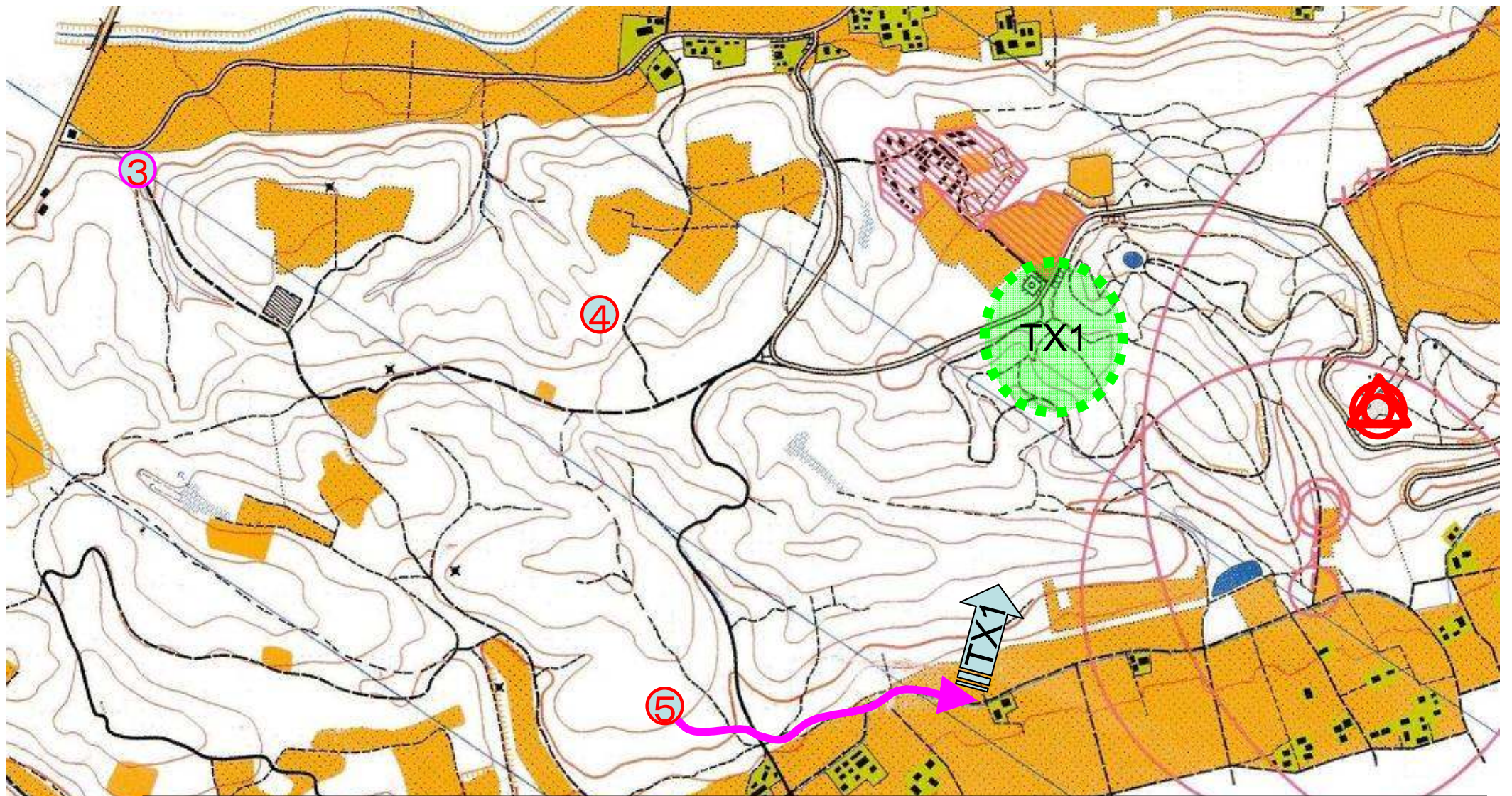
登る途中でTX5が鳴く。斜め下方向だ。藪だ。コンパスをセットして、コンパスモードで進む。藪を出ると、フラッグがあった。TX5ゲット。

③

④

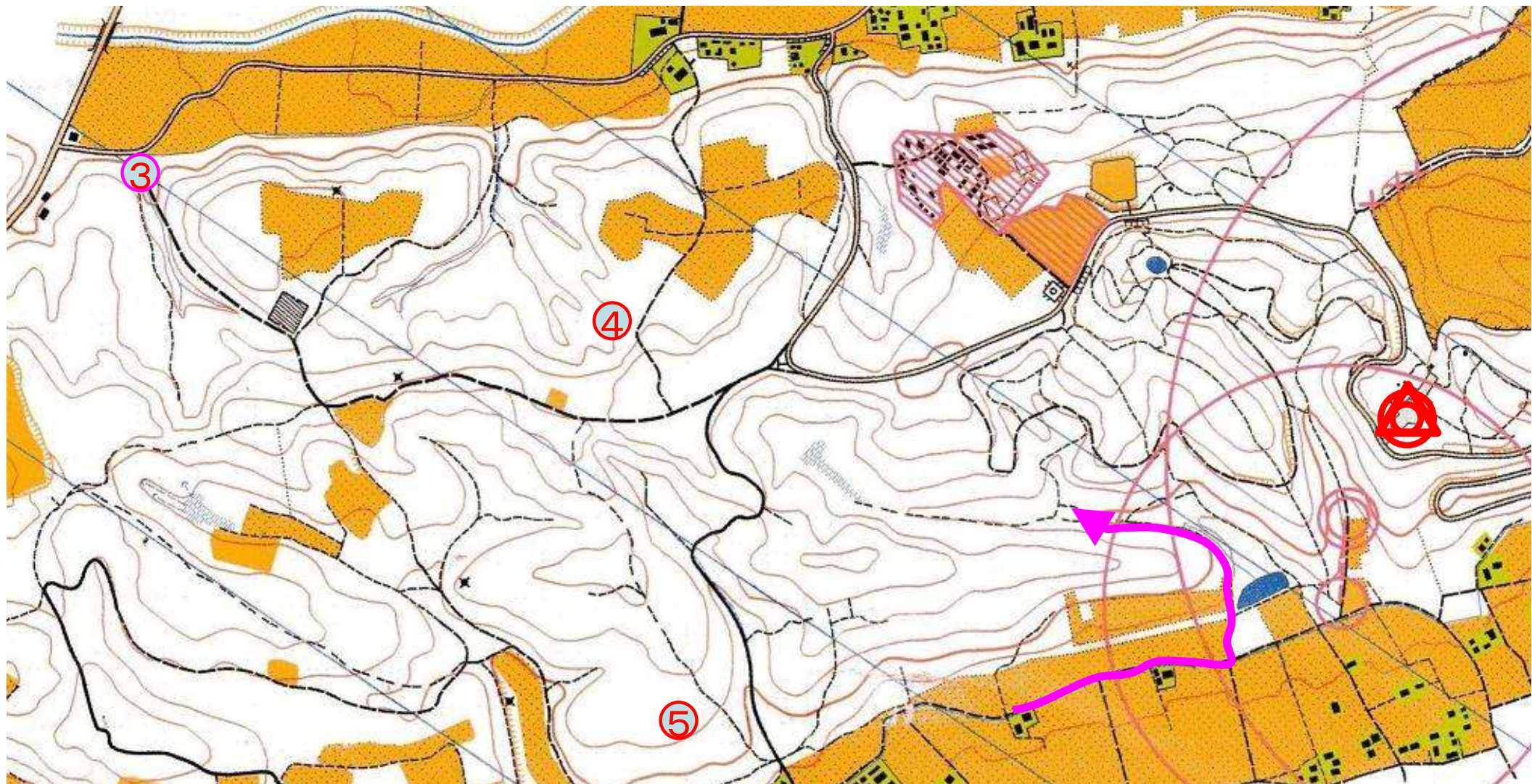
⑤





⑬下界へ

TX5からまっすぐと下界に向けて降りられた。昨日のゴール方向に向け進みながら、TX1を方探。しかし、意外なことに弱い。雨もほとんど上がったので地図を良く見る。「じえじえっ」これは、尾根道の給水塔付近の小道がたくさんあるところではないか！やられた。時間はあと30分だが、そこへ向かう最短コースの小路を使って山を登ることにする。

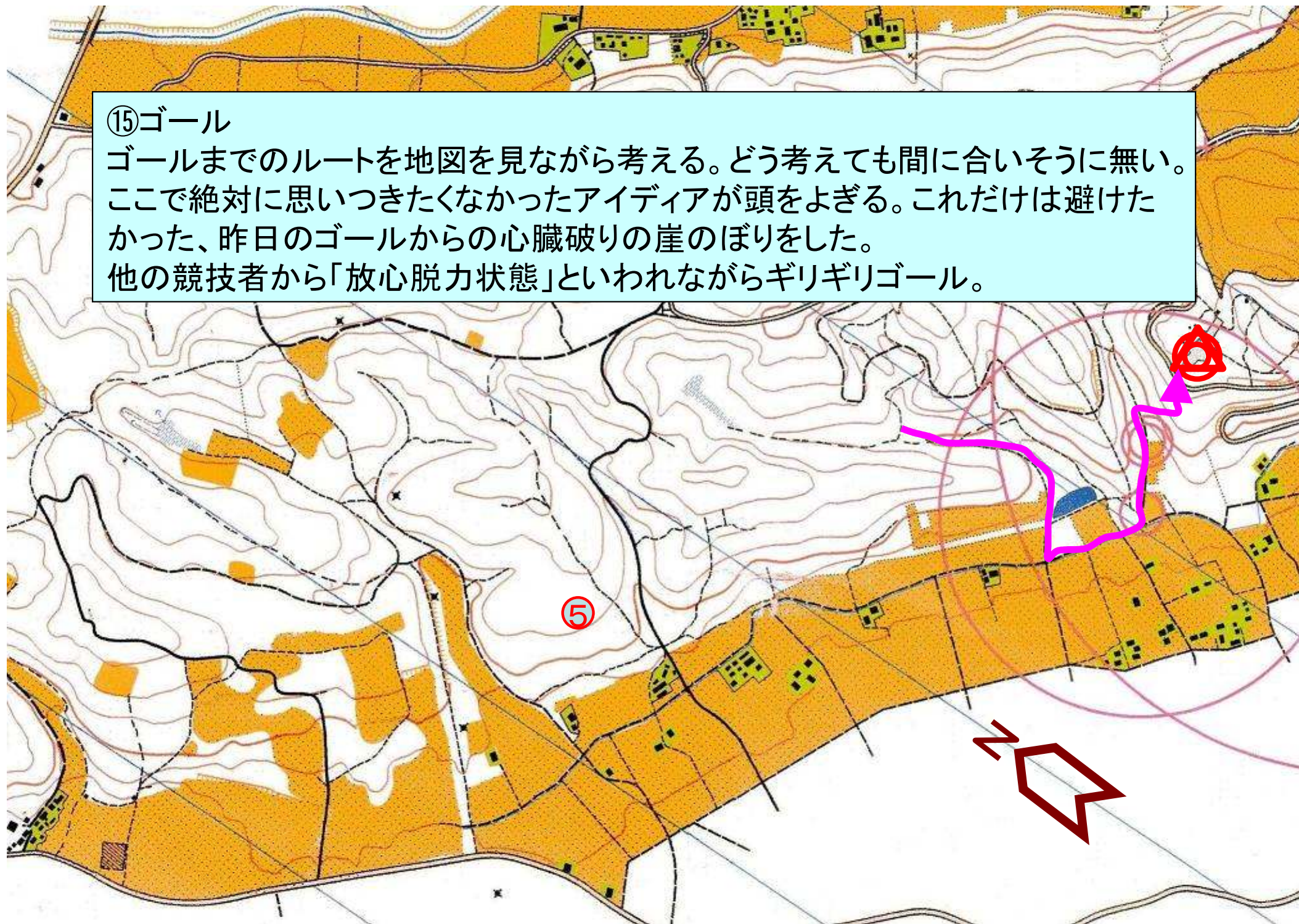


⑭断念

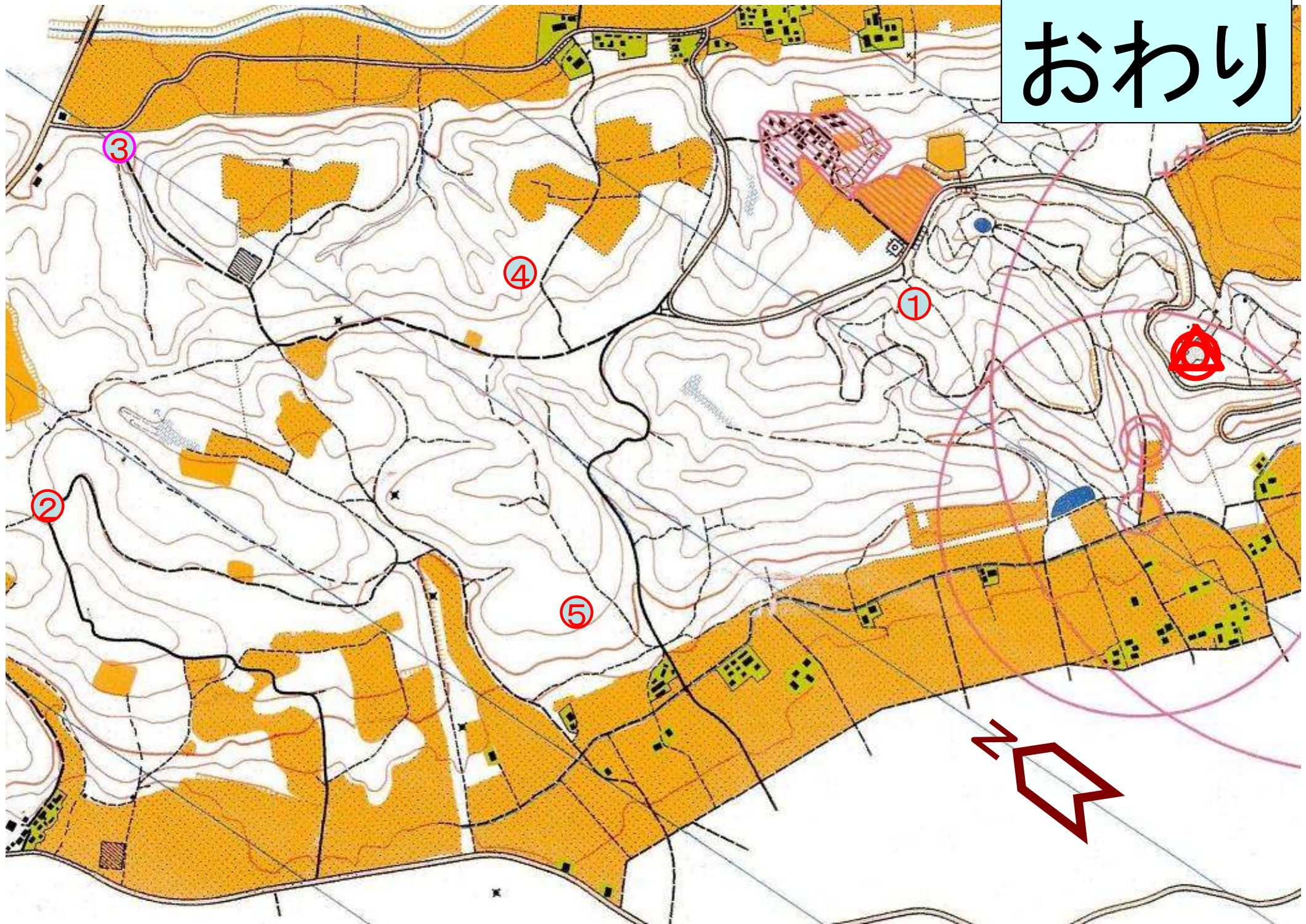
道が怪しくなるので、心配しながら小路を進む。まだまだ下のほうだが、時計を見るとあと20分。これはタイムオーバー必須か。最終組2つ前なので、すぐに競技時間終了だ。なんと連絡するのが良いのだろうと考えながら進む途中で、TX1をあきらめればタイムオーバーしないですむ可能性に気づく。急遽戻ることにした。

⑮ゴール

ゴールまでのルートを地図を見ながら考える。どう考えても間に合いそうに無い。ここで絶対に思いつきたくなかったアイデアが頭をよぎる。これだけは避けたかった、昨日のゴールからの心臓破りの崖のぼりをした。他の競技者から「放心脱力状態」といわれながらギリギリゴール。



おわり



反省

◇なんと言ってもTX1を置いてきてしまったことが大失敗。初測で昨日のゴール付近と思い込んでしまったのが最大の敗因。後で聞いてみると同様の競技者が数人いた。また近傍まで近づき、「それにしても強い」と思いながらTX近傍に来ているとなぜ思わなかったのか。冷たい雨で頭も凍っていたのかもしれない。あとでGPSデータを見ながら原因がわかった。道が大きくカーブしていて、方角を間違えていたのだ。雨でコンパスを見ていなかったのが原因であった。